

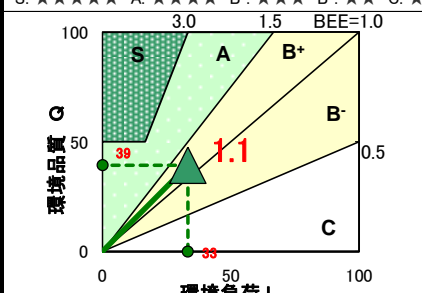
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺西BTS-A区画物流センター新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市西区築港2丁7番13	構造	S造
用途地域	工業専用、無指定(法第22条地域)、屋外広告物第3種	平均居住人員	75人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年10月31日
敷地面積	17,838 m ²	作成者	康 昌夫
建築面積	10,492 m ²	確認日	2017年00月00日
延床面積	20,497 m ²	確認者	西郷 信彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

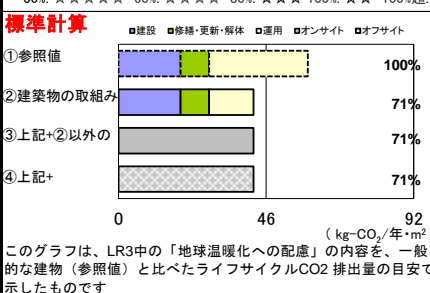
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

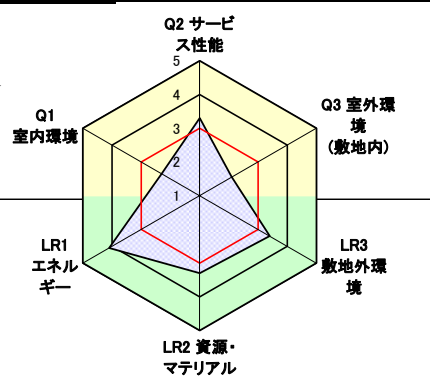
標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

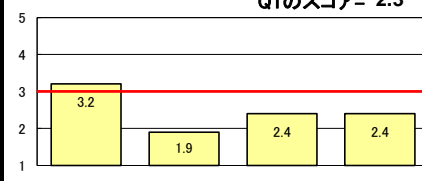


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

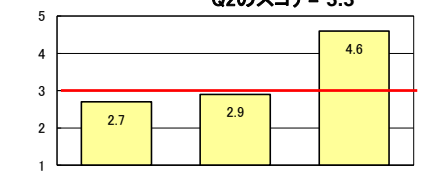
Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3



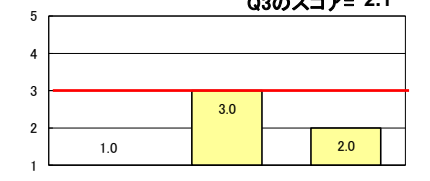
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3



Q3 室外環境(敷地内)

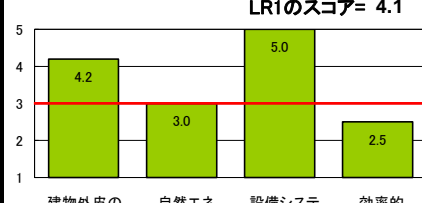
Q3のスコア = 2.1



LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

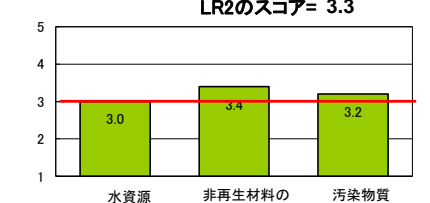
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1



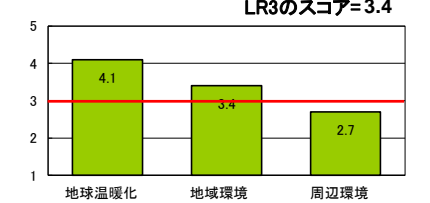
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
物流施設として十分な天井高さを確保する事で機能効率性に配慮した設計としている。		
Q1 室内環境 空調機及び自然採光を取り入れ、室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 外壁材には金属サイディングを採用し、耐候性のある鋼板を採用する。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地エリアに高木・中木・低木を配する事で、景観に配慮すると共に敷地内温熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー 照明器具にLEDを採用する。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具の採用等、資源の保護に配慮する。	LR3 敷地外環境 従業員駐車場や駐輪場を確保する事で、周辺の交通負荷抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺西BTS-A区画 物流センター新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市西区築港2丁7番13	1.1	B+
	主用途/延床面積	工場 / 20,497.32 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●		
省エネ対策	3	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			4.1	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	1.0	3	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				4.2
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				5.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				2.5
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.0
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			3.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			1.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	